

重要文化財のJR九州「門司港駅」グランドオープン記念 ひとよし SL人吉で使用の50系客車を貸切運行 過去に走行していた懐かしの筑豊本線に行くオリジナルルート

KNT-CTホールディングス株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:丸山隆司)のグループ会社であるクラブツーリズム株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:小山佳延、以下クラブツーリズム)では、『50系客車に乗車・門司港発熊本行き 日帰りの旅』(旅行代金:15,000円(おひとり)、設定日:3月10日、定員:130名)を1月7日より発売、好評をいただいています。

駅舎として初めて国の重要文化財に指定されたJR九州の門司港駅が、3月10日にグランドオープンいたします。2012年からの保存修理工事を終え、創建時(大正3年)の姿を復元した門司港駅のグランドオープンに相応しいコースをご用意しました。

現存する日本最古の蒸気機関車で人気の「SL人吉(ひとよし)」が牽引する車両「50系客車」は、SLの客車としてリニューアルした際、工業デザイナー水戸岡鋭治氏にデザインをお願いし、現在は熊本県内(熊本～人吉区間)を走行しています。今回、車両がもつ長い歴史の中で、SL人吉の客車になる前に走行していた筑豊本線を走行(※)させることで、過去と現在をつなぐ演出を目指しました。

本ツアーでは、門司港駅を出発後、筑豊本線、篠栗線、鹿児島本線を経由して熊本駅まで走行するオリジナルルートです。

※50系客車の牽引はSL人吉ではありません



グランドオープン後の門司港駅 外観(イメージ)



50系客車(イメージ)

■50系客車に乗車・筑豊本線に行く 門司港発熊本行き 日帰りの旅

< 本ツアーのポイント >

- ① 門司港駅グランドオープン日に実施
- ② 50系客車にゆかりのある「筑豊本線」を走行するオリジナルルート
- ③ クラブツーリズムオリジナルのホーロー板の縮小版特製サボ(行先標)をプレゼント
筑豊本線を走行していた当時から再現しました
- ④ 昼食にはご当地で人気のお弁当をご用意

< 概要 >

出 発 日: 2019年3月10日(日)

旅 行 代 金: おひとり大人 15,000円

募 集 人 員: 130名限定

オリジナルルート:

門司港駅(10:15頃)・折尾・直方・飯塚・桂川・吉塚・博多・大牟田・熊本駅(16:00頃)

*やむを得ない事由により時刻が変更になる場合があります。

問い合わせ先: <https://clublog.club-t.com/ct/17242387> 【検索 ⇒ クラブツーリズム クラブログ門司港】